

○建設部長 今、路線決定の直前に購入されたというようなご発言をいただいたんですが、登記簿等を確認しているんですが、大分古い時代のもの、県の事業が起きる前のものであったり、県が事業中止の期間中であつたりというようなところでの登記簿の状況というのは把握はしてはおります。

ただ、あくまで市が事業決定してすぐに購入したというような土地については、登記簿上、見つけられてないような状況なんですけど、全て、改めて、ご指摘いただいたような点、確認はさせていただきたいんですが、現段階で確認している状況としてはそういう状況でございますので、その点だけご説明だけさせていただきたいなということでございます。

○議長 議員。

じゃあ、何の関連会社のところが登記変えているか分かりますか。建設工事会社。

○議長 建設部長、答弁を求めます。

○建設部長 建設会社の関連している住宅開発不動産事業会社というような認識でございます。

すみません、住宅関連だと思っっているんですか。

○議長 これは、そこまでここで突っ込んでの議論でなくて、予算の中での……。

全協だからある程度監視しないと、この後は大変になると思います、何かあつたら。答えられるなら答えたら。

○議長 答えられる範囲でお願いします。

○建設部長 すみません、不動産を営むような登記であつたかと思っておりますので、不動産イコール住宅と私が勝手に思っている状況かもしれません、発言を訂正させていただきます。大変申し訳ございません。不動産取引をしている会社というような認識でございます。

関連会社で上の会社というのは、ここで名前出してないんだけど、ああそうだったのかと皆さん後で分かると思いますので、その辺もきちっと精査してください。

○議長 議員。

私からは、一番最後の大きな2番のところの赤い文字のところ、先ほども部長さんからのご説明ありましたが、合併特例債のほうで不足分が46億円で、今後の対応についてもご説明をいただきました。とはいっても、これは確定をしているものではないので、そういう手続を踏まえた上で、これを補うだけのものの金額が出ればいいなという臆測だというふうに思っています。それを考えたときに、一番上のところの大きな1のところの(1)の一番最後に、トンネル工事に係る事業費については今後の資材等の変動を考慮して約1.2倍にしてある数字が今回の提示された数字だと思っております。ただ、工事までにはまだまだ期間もあります。そうすると、例えば体育館の説明いただいたときにも出てきたんですが、やはり、今の状況ですと、1、2か月に1回は見積りというものを再度考慮するような説明もいただいたこともあるんですが、この工事がどうであるかはともかく、少なくともこういうふうに1.2倍ということが明記されているということを考えていくと、平成9年度でしたっけ、トンネル工事に入りたいというのは、8年度までにそれ以外の様々なものを整理をして、9年度からかかりたいということで考えていくと、まだ年度が今平成6年度ですから、七、八と2年間あるということを考えていくと、ごめんなさい平成じゃなくて令和ですね、そうすると、2年の間にはまださらに増額になってしまうことが考えられる。とすると、最初に戻りますと、46億円がもう少し増えてしまうことも想定される中で、申請したものが全て通らないとすると、じゃあどういうふうに充てるのかという市一般財源ということになるのかどうかというのが1点です。

合併特例債はもういわゆるこれはパンク状態というふうに考えるべきなのかどうかということが2点目です。